

## 原田裕規（はらだ・ゆうき）

1989年山口県生まれ。美術家。

社会の中で「とるに足らない」とされているにもかかわらず、広く認知されている視覚文化をとり上げ、議論喚起型の問題を提起するプロジェクトで知られる。2012年に「ラッセン展」の共同企画でデビューし、2013年に編著書『ラッセンとは何だったのか?』（フィルムアート社）を刊行、2017年以降は心霊写真をテーマにしたプロジェクトを展開、2019年以降は「島」をテーマにしたプロジェクトを進めている。

主な個展に「One Million Seeings」（KEN NAKAHASHI、2019年）、「写真の壁：Photography Wall」（原爆の図 丸木美術館、2019年）、「心霊写真／ニュージャージー」（Kanzan Gallery、2018年）、コラボレーションに『広告』Vol.414 [特集：著作]（博報堂、2020年）などがある。

### 経歴

2017 文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてニュージャージーに滞在  
2016 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程先端芸術表現専攻修了  
2013 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科卒業

### 個展

2019 「One Million Seeings」KEN NAKAHASHI  
「作者不詳 #3 ブルーシート」CAGE GALLERY  
「写真の壁：Photography Wall」原爆の図 丸木美術館  
2018 「作者不詳 #2 「掲示／啓示」」CAGE GALLERY  
「心霊写真／マツド」山下ビル  
「回顧展」コ本や  
「心霊写真／ニュージャージー」Kanzan Gallery  
2017 「作者不詳 #1-1, #1-2, #1-3」CAGE GALLERY  
2015 「エンドロール」パーブルームギャラリー（NADiff a/p/a/r/t 内）  
「Juxtaposition」switch point  
2014 「lighthouse vol.9 原田裕規展」switch point  
2007 「原田裕規展」新地ギャラリー  
「原田裕規展」Art Space Hap

### 著作

2020 作品集『One Million Seeings』王子スタジオ  
アートワーク『広告 Vol.414（特集：著作）』博報堂  
共著『地域アートはどこにある?』堀之内出版  
共著『スポーツ／アート』森話社  
2018 記録冊子『心霊写真／マツド』山下ビル  
2017 作品集『Fwd: print n.1』自家版  
2015 共著『ラムからマトン』アートダイバー  
編著『lighthouse vol.9 原田裕規展』switch point  
共編著『ARCMA Report 2014』慶應義塾大学アート・センター ARCMA 事務局  
2013 編著『ラッセンとは何だったのか?——消費とアートを越えた「先」』フィルムアート社

### 企画

2017 「ニュー・フラット・フィールド」（石井友人・中島晴矢との共同企画・出品）デジタルハリウッド大学八王子キャンパス  
2013 「シリーズ「呪術」à Le Tabou vol.2 椋本真理子」Le Tabou  
2012 「シリーズ「呪術」à Le Tabou vol.1 帆苺祥太郎」Le Tabou  
「心霊写真展」22:00 画廊  
「ラッセン展」CASHI

### グループ展

2020 「Alter-narratives——ありえたかもしれない物語」東京藝大国際芸術創造研究科ウェブサイト  
「だれかのなにか——アーティスト・フレア・マーケット」The Book Markers' Gathering, Shibuya ウェブサイト  
2019 「きりとりめでると未然の墓標（あるいはねご動画の時代）2019-2020」パーブルームギャラリー  
「彫刻書紀展」四谷未確認スタジオ  
「コ本や Selection Vol. 01」コ本や  
「ゲンビどこでも企画公募 2019」広島市現代美術館  
「原田裕規 | 百頭たけし「心霊写真」」関内文庫  
「多和田有希 | 原田裕規「家族系統樹」」表参道画廊  
2018 「SURVIBIA!!」デジタルハリウッド大学八王子制作スタジオ  
2017 「ニュー・フラット・フィールド」デジタルハリウッド大学八王子制作スタジオ  
2016 「MITSUKOSHI × 東京藝術大学 夏の芸術祭 2016 次代を担う若手作家作品展」日本橋三越本館 6階  
「パープルタウンにおいでよ」パーブルーム予備校、パーブルーム見晴らし小屋、ゼリー状のパーブルーム  
「第64回東京藝術大学卒業・修了作品展」東京藝術大学上野校地  
2015 「WIP 展 2015」東京藝術大学取手校地  
2013 「東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修士課程1年博士課程2年 ATLAS 展」東京藝術大学大学美術館取手館  
「平成24年度 武蔵野美術大学卒業制作・修了制作優秀作品展」武蔵野美術大学美術館

- 2011 「平成 24 年度 武蔵野美術大学卒業・修了制作展」 武蔵野美術大学  
2008 「芸術文化学科児島ゼミ有志によるオープンゼミ展」 武蔵野美術大学  
「Art Portfolio in ARTZONE」 ARTZONE  
「基町高校創造表現コース卒業作品展」 広島市立基町高等学校
- 2007 「Art Portfolio in ARTZONE」 ARTZONE  
2006 「16 Art Bank Project」 十六銀行徹明支店  
「Indiket 2006」 NTT クレドホール  
「第 10 回フラッグアート展」 岐阜市・神田町通り
- 執筆
- 2020 連載「プレイバック！美術手帖 Vol.13」『美術手帖』2020 年 6 月号、美術出版社 | pp.212-213  
「小沢剛に聞く コードをすり抜ける変化球の投げ方」『美術手帖』2020 年 4 月号、美術出版社 | pp.58-61  
連載「プレイバック！美術手帖 Vol.12」『美術手帖』2020 年 4 月号、美術出版社 | pp.234-235
- 2019 連載「プレイバック！美術手帖 Vol.11」『美術手帖』2020 年 2 月号、美術出版社 | pp.226-227  
連載「プレイバック！美術手帖 Vol.10」『美術手帖』2019 年 12 月号、美術出版社 | pp.228-229  
「「再評価」より前に考えたいこと。原田裕規評「80 年代の美術 4——前本彰子展」」『美術手帖 (WEB)』2019 年 11 月 9 日配信、BTCompany  
連載「プレイバック！美術手帖 Vol.9」『美術手帖』2019 年 10 月号、美術出版社 | pp.240-241  
連載「プレイバック！美術手帖 Vol.8」『美術手帖』2019 年 8 月号、美術出版社 | pp.230-231  
「「アウトサイド」と「アートのサイド」、どちらに立つか？ 原田裕規評「榎野展正のアウトサイド・ジャパン展」」『美術手帖 (WEB)』2019 年 6 月 18 日配信、BTCompany  
「写真という思い込みを疑い、現代の「洞窟」としてホテルを見た。写真家・横田大輔インタビュー」『美術手帖 (WEB)』2019 年 6 月 12 日配信、BTCompany  
「ARTIST PICK UP.2 ヴィンセント・ライタス」『美術手帖』2019 年 6 月号、美術出版社 | pp.172-177  
連載「プレイバック！美術手帖 Vol.7」『美術手帖』2019 年 6 月号、美術出版社 | pp.234-235  
「藤井雅実インタビュー」『美術手帖』2019 年 6 月号、美術出版社 | pp.88-89  
「「広告の時代」のアートとは何か？」『美術手帖』2019 年 6 月号、美術出版社 | pp.52-55  
「2010 年代アートシーンを支えるキーパーソン」『これからの美術がわかるキーワード 100』2019 年 4 月、美術出版社  
連載「プレイバック！美術手帖 Vol.6」『美術手帖』2019 年 4 月号、美術出版社 | p.212-213  
「「ありふれたもの」を散漫にみること」『美術手帖』2019 年 4 月号、美術出版社 | p.126-127  
「アーティストの職能」『APMoA Project, ARCH』2019 年 3 月、愛知県美術館  
「「シミュレーター」の 3 展覧会」『クイック・ジャパン』142 号、太田出版 | p.167  
「「家族アルバム」というフォーマット、それを超える強いつながり。原田裕規評 森栄喜展「Letter to My Son」」『美術手帖 (WEB)』2019 年 1 月 18 日配信、BTCompany
- 2018 連載「プレイバック！美術手帖 Vol.5」『美術手帖』2019 年 2 月号、美術出版社 | p.234-235  
「「見ること」の 3 展覧会」『クイック・ジャパン』141 号、太田出版 | p.175  
連載「プレイバック！美術手帖 Vol.4」『美術手帖』2018 年 12 月号、美術出版社 | p.220-221  
「ケイト・グルービー インタビュー」『美術手帖』2018 年 12 月号、美術出版社 | p.148-153  
「「切り取り」の 3 展覧会」『クイック・ジャパン』140 号、太田出版 | p.183  
連載「プレイバック！美術手帖 Vol.3」『美術手帖』2018 年 10 月号、美術出版社 | p.202-203  
「「諦め」の 3 展覧会」『クイック・ジャパン』139 号、太田出版 | p.167  
「藤田嗣治年表」『美術手帖』2018 年 8 月号増刊、美術出版社 | pp.52-55  
「藤田嗣治ライフストーリー」『美術手帖』2018 年 8 月号増刊、美術出版社 | pp.44-51  
構成「「ピカソが僕を変えた」横尾忠則、ピカソを語る。」『美術手帖 (WEB)』2018 年 7 月 23 日配信、BTCompany | [https://bijutsutecho.com/magazine/special/promotion/18094?fbclid=IwAR1o0fMSWjOT9GJO1MhsDDrfvwUw1QCNIIDg\\_d8hClaitaigSxTRNv3Bdp78#.W1Walr1WO7Y.twitter](https://bijutsutecho.com/magazine/special/promotion/18094?fbclid=IwAR1o0fMSWjOT9GJO1MhsDDrfvwUw1QCNIIDg_d8hClaitaigSxTRNv3Bdp78#.W1Walr1WO7Y.twitter) [2018 年 11 月 11 日アクセス]  
連載「プレイバック！美術手帖 Vol.2」『美術手帖』2018 年 8 月号、美術出版社 | pp.250-251  
「『美術手帖』創刊 70 周年 × NADiff a/p/a/r/t 10 周年記念企画」選書フェア、NADiff a/p/a/r/t [コメント寄稿]  
「「作者不詳」の 3 展覧会」『クイック・ジャパン』138 号、太田出版 | p.183  
サハ「演劇エリートスクール」チラシ [アートワーク提供]  
「物質としてスケール感を扱う方法」『WYSASSS』DOOKS  
連載「プレイバック！美術手帖 Vol.1」『美術手帖』2018 年 6 月号、美術出版社 | pp.202-203  
「Chim ↑ Pom インタビュー」『美術手帖』2018 年 4・5 月号、美術出版社 | pp.32-40  
「「作品の時代」とは何か？」『美術手帖』2018 年 4・5 月号、美術出版社 | pp.42-43  
「コ本やインタビュー」『美術手帖』2018 年 4・5 月号、美術出版社 | pp.44-47  
「Alternative Space Core」『美術手帖』2018 年 4・5 月号、美術出版社 | p.57

- 「ラファエル・ローゼンダール インタビュー」『美術手帖』2018年4・5月号、美術出版社 | pp.173-187  
聞き手「ローレンス・ウィナー インタビュー」『美術手帖』2018年3月号、美術出版社 | pp.124-127  
聞き手「『パラレルな美術史』とは何か？ 小沢剛が見せる「不完全」展」『美術手帖 (WEB)』2018年1月18日配信、BTCompany | <https://bijutsutecho.com/interview/10807/> [2018年2月10日アクセス]
- 2017 「読者から読者へ：第四回「二十一世紀の名著」梅田蔦屋書店 [冊子・選書] 2018年1月  
聞き手・構成「長谷川愛インタビュー」『美術手帖』2018年1月号、美術出版社 | pp.26-30  
文字起こし・構成「横尾忠則インタビュー (聞き手：伊藤亜紗)」『アイデア』2018年1月号、誠文堂新光社 | pp.32-35  
石井友人・中島晴矢・原田裕規 (鼎談)「なぜ「郊外」は語られない？ ニュータウン発の現代美術展で考える」『CINRA.NET』2017年11月7日配信、CINRA.NET | <https://www.cinra.net/interview/201711-newflatfield> [2018年2月10日アクセス]  
「読者から読者へ：第三回「永遠の謎を求めて」梅田蔦屋書店 [冊子・選書] 2017年10月  
「読者から読者へ：第二回「美しい世界ってなんだろう？」梅田蔦屋書店 [冊子・選書] 2017年8月  
「命名のあとさき」『美術手帖』2017年8月号、美術出版社 | pp.184-185  
「裏声が聞こえる」『美術手帖』2017年7月号、美術出版社 | pp.150-151  
「読者から読者へ：第一回「世界の見方を変える本」梅田蔦屋書店 [冊子・選書] 2017年6月  
「制度批判者としての松澤宥」『美術手帖』2017年6月号、美術出版社 | pp.186-187  
「制作を媒介に神話的世界へ。上妻世海インタビュー (前・後編) [聞き手・構成]」『美術手帖 (WEB)』2017年4月4日配信、BTCompany、<https://bijutsutecho.com/interview/2862/> | <https://bijutsutecho.com/interview/2958/> [2017年6月8日アクセス]  
「無・関係性の絵画」『美術手帖』2017年2月号、美術出版社 | p.173  
「コンセプトとしての絵画の死に方」『美術手帖』2017年2月号、美術出版社 | pp.188-189
- 2016 「特集 あなたの知らないニューカマー・アーティスト100」における宮下大輔、ローゼン・シマムラ、齋藤恵汰の推薦・解説文の執筆  
『美術手帖』2016年12月号、美術出版社 | pp.49-84  
「表現としての施行」『美術手帖』2016年12月号、美術出版社 | pp.212-213  
「眼病としての太陽」『美術手帖』2016年10月号、美術出版社 | pp.166-167  
「過激化する「ふつつ」」『経済産業省第四分館』(寿山凡太郎個展記録集) 2016年9月  
「破壊/建設」される不気味さ」『美術手帖』2016年9月号、美術出版社 | p.177  
「《パープルタウンの風景》に寄せて」《パープルタウンにおいでよ》(2016.7.10-7.19)における会場「パーブルーム予備校」で発表  
「展覧会の作者とは」『美術手帖』2016年5月号、美術出版社 | pp.182-183  
「再演される「不定」」『美術手帖』2016年4月号、美術出版社 | pp.180-181
- 2015 「「ほか」としてのパーブルーム」『美術手帖』2015年10月号、美術出版社 | pp.198-199  
「寛容——N・ケティングの表現」『美術手帖』2015年7月号、美術出版社 | pp.160-161  
「蒙古斑と美術の余白」『ラムからマトン』(編著：梅津庸一) アートダイバー  
「網羅的に併置すること (Juxtaposition)」『Lighthouse vol.9 原田裕規展』(編著：原田裕規) switch point  
「灰色の幻」『ARCMA Report 2014』(編著：上崎千・國本学史・原田裕規) 慶應義塾大学アート・センター ARCMA 事務局  
文字起こし・編集「「MOT コレクションつくる、つかう、つかまえる——いくつかの影響から」関連プログラム「高柳恵里の作品について——対談：高柳恵里 × 蔵屋美香」採録」『平成26年度 東京都現代美術館年報 研究紀要 第17号』東京都現代美術館  
「山口晃最新インタビュー」インタビュー『美術手帖 2015年4月号』美術出版社
- 2014 「五島記念文化賞 美術新人賞研修帰国記念 鬼頭健吾 Reflection「反映」展レビュー」『REAR 34号』REAR 制作室  
「歪み——坂本夏子の絵画」『美術手帖 2014年12月号』美術出版社  
「『落葉』の視点と「日本」の自画像」『月刊美術 2014年11月号』サン・アート  
「レセプタとしての大地——立ちのぼる生命 宮崎進展」『美術手帖 2014年8月号』美術出版社  
「フィクションは疑いを晴らすか——「非日常からの呼び声」展」『美術手帖 2014年7月号』美術出版社  
「特別連載「中原佑介を読む」を読む 第10回 (最終回)——偶然と「人間と物質」について」『美術手帖 2014年6月号』美術出版社  
「木梨憲武のハード・コア」『木梨憲武展 ×20years』美術出版社  
「アール・ローランのダイアグラム」『ART CRITIQUE n.4』constellation books (京都)  
「バルテュスの画業と人生」『美術手帖 2014年4月号』美術出版社  
「批評の無限後退——バルテュスをめぐる言説から」『ユリイカ 2014年4月号』青土社 (東京)  
「特別連載「中原佑介を読む」を読む 第6回——態度が形にならない、人間と物質のあいだ」『美術手帖 2014年1月号』美術出版社
- 2013 「新・方法的なもの」『新・方法 第35号』新・方法  
「フレーミングし、追認せよ——「福田美蘭」展」『美術手帖 2013年10月号』美術出版社  
「特別連載「中原佑介を読む」を読む 第3回——反論理の美術批評」『美術手帖 2013年9月号』美術出版社  
「特別連載「中原佑介を読む」を読む 第1回——理論物理学と美術批評のあいだ」『美術手帖 2013年7月号』美術出版社  
「はじめに」『「ラッセン展」とは「クリスチャン・ラッセンの歩み」「クリスチャン・ラッセンの画業と作品——事後的評価と再召喚される「ベタ」』「作品分析のアクチュアリティ——ラッセンを見ることの意味」「おわりに」『ラッセンとは何だったのか？』(編著：原田裕規) フィルムアート社  
「小沢ノッポさんの素——小沢剛「できるかな」展」『美術手帖 2013年6月号』美術出版社  
「新しいユートピアへ——今津景「PUZZLE」展」『美術手帖 2013年5月号』美術出版社

- 2011 「アール・ローラン論——セザンヌ作品のダイアグラム分析をめぐって」 武蔵野美術大学  
「風景について」 武蔵野美術大学  
「宮下大輔インタビュー」『Culture Power』 武蔵野美術大学
- 2010 「インタビュー・アーカイヴサイト「Culture Power」運営・インタビュアー」 武蔵野美術大学
- 2009 「梅沢和木インタビュー」『美術批評とは何か』 武蔵野美術大学
- 登壇・出演
- 2019 「プレイバック！美術手帖「バックナンバーから考える現在・未来」NADiff a/p/a/r/t [原田裕規、上崎千、松井茂]  
「写真の壁：Photography Wall」トークイベント、原爆の図 丸木美術館 [榎木野衣]  
「写真の壁：Photography Wall」トークイベント、原爆の図 丸木美術館 [きりとりめでる]
- 2018 「写真の壁：Photography Wall」オープニングトーク、原爆の図 丸木美術館 [岡村幸宣]  
「『神霊』写真について」(特別講座「有学会・遊学塾」第56回) 美学校  
「視覚障害者と一緒に楽しむ写真教室／トークイベント」ギャラリーかれん [尾崎大輔、小高美穂、視覚障害のある方2名、原田裕規]  
「SURVIBIA!!」クロストーク、デジタルハリウッド大学八王子キャンパス  
「〈「地域アート」はどこにある?〉プロジェクト クロストーク」十和田市現代美術館 [林暁甫、藤田直哉、金澤韻、原田裕規]  
「パープルーム大学附属ミュージアムのヘルスケア」関連トークイベント第一弾「展覧するということ」 梅津会館2階 [梅津庸一、原田裕規]  
「《凍土》を解凍 [デコード] する」山口県立美術館  
「心霊写真／マツド」トークイベント、山下ビル [副田一穂]  
「回顧展」トークイベント、コ本や [上崎千]  
「心霊写真／ニュージャージー」トークイベント、Kanzan Gallery [三輪健仁]  
「回顧展」トークイベント、コ本や [飯盛希]  
「心霊写真／ニュージャージー」トークイベント、Kanzan Gallery [中尾拓哉]  
「心霊写真／ニュージャージー」トークイベント、Kanzan Gallery [田坂博子]  
「Project Intersection ワークショップ「Intersection I:地域・歴史・アートの狭間で」」クリエイティブセンター大阪 (名村造船所跡地)
- 2017 内 Black Chamber [パネリスト：藤井光、原田裕規、飯山由貴、上崎千、モデレーター：小森真樹、牧田義也]  
「自営と共在 (企画：齋藤恵汰)」展ゲストトーク、BARRAK 大道 [鈴木操、原田裕規]
- 2016 「芸術的：アートのお仕事 2017」武蔵野美術大学 [スピーカー：水田紗弥子、沢山遼、原田裕規、戸塚愛美、ファシリテーター：冠那菜奈]
- 2015 「Meets Nights at Barrack」Barrack [Jason Waite、黒寄想、オル太、原田裕規、亜鶴、木村奈緒]  
「美術という制度と物語——土人の構想画からラッセンまで」NADiff a/p/a/r/t [梅津庸一、原田裕規]
- 2014 「ARTIST' GUILD 生活者としてのアーティストたち」東京都現代美術館地下2階講堂  
「映像メディア学特別研究」東京藝術大学横浜校地  
「CAMP：Discursive #1 〈参加すること〉」森美術館  
「CAMP：えをかくこと #2 〈展覧会をつくる〉」blanClass  
「鈴木広志個展ゲストトーク」XYZ collective [鈴木広志、原田裕規、ツカダシュウヘイ、寒田美緒]
- 2013 「組立-転回/対話企画 上田和彦 × 原田裕規「自己教育としての美術——なぜ作家が企画を立てるのか」」東京造形大学 CS-Lab  
「現在のアート〈2013〉」森美術館  
「女子美術大学 芸術表象論特別講義 #15」女子美術大学  
「ラッセンの「聴取」」[星野太、原田裕規、櫻井拓] Le Tabou  
「『ラッセンとは何だったのか?』出版記念「いま、ここからのラッセン vol.2」」[千葉雅也、大山エンリコイサム、原田裕規] B&B  
「KoSAC「ラッセンをいかに語るのか?」」[中ザワヒデキ、原田裕規、加島卓、光岡寿郎] 武蔵野美術大学  
「中ザワヒデキ文献研究 夏の陣最終回」[中ザワヒデキ・武田美和子・原田裕規] 美学校  
「引込線 2013『「作品」の成立をめぐって』」[勝俣涼・原田裕規・椋本真理子・百瀬文] 旧所沢市立第2学校給食センター  
「三原回個展トーク「アーティストと死」」[原田裕規・三原回・図師雅人] あおば荘  
「『ラッセンとは何だったのか?』出版記念「いま、ここからのラッセン vol.1」」[斉藤環、大野左紀子、速水健朗、原田裕規] B&B  
「触れる音、聞こえる形」[椋本真理子・原田裕規] Le Tabou  
「『現場』研究会ゲストトーク」宮益坂ビル
- 2012 「平成24年度 武蔵野美術大学芸術文化学科卒業制作展 座談会」[杉浦幸子、高橋実和、櫻林恵美理、原田裕規] 武蔵野美術大学  
「Provisional School 暫定学校」[栗田大輔・小林晴夫・橋本聡・藤川琢史・原田裕規・村山悟郎・一ノ瀬健太・光岡幸一・五位野聖・野本直輝・田中丸善一ほか] 東京造形大学 CS-Lab  
「触れる音、聞こえる形」[原田裕規・帆苅祥太郎] Le Tabou  
「マテリアリティとクオリティ——ムーアとハーストの反復性から」[杉浦幸子・原田裕規] Neutron Tokyo  
「夜と芸術」[榮龍太郎・原田裕規] 22:00 画廊
- 2011 「心霊写真展トークイベント」[榮龍太郎・原田裕規・松井勝正] 22:00 画廊
- 2010 モデレーター 《3.11以降のアート (パネリスト：石黒敦彦、沢山遼、岡村幸宜)》 銀座会議室



- 2009 助監督『白屋夢』監督：森本はる葉、主演：宮下大輔  
 2008 「Review House☆Dream Night2」Uplink Factory  
 「学校へ行こう！MAX 出演」TBS テレビ（2008/2/26/20:00-21:00）  
 「岡本太郎《明日の神話》広島誘致活動」オリエンタルホテル広島  
 2007 「学校へ行こう！MAX 出演」TBS テレビ（2008/1/22/20:00-21:00）  
 「パンダ寄贈」灘幼稚園  
 2006 「並木緑化計画」並木通り  
 「並木通りストリートペインティング」並木通り  
 「Improvisation Workshop - 絵と音セッションその2」Yukotopia

掲載情報

- 2020 インタビュー「In Yuki Harada's Spiritual 'Cave」『ODALISQUE Magazine』2020年4月20日、  
<https://www.odalisquemagazine.com/articles/2020/04/20/yuki-haradas-spiritual-cave-photography-by-Ksenia-Rundin> [2020年5月24日アクセス]  
 「他収集了被掉的五万照片，堆成了一座山 | 原田裕規」『虫』2020年1月5日、<https://opensee.tuchong.com/t/61426367/>  
 [2020年5月24日アクセス]
- 2019 きりとりめでる「壁でかたちづくられる原田裕規」『原爆の図丸木美術館ニュース』2019年4月号、原爆の図丸木美術館  
 「埋もれる原爆の記憶 表現」『中国新聞』2019年3月1日、中国新聞社
- 2018 インタビュー「心霊写真について（聞き手：きりとりめでる）」『パンのパン 03』2018年  
 高嶋慈「原田裕規「心霊写真／マツド」」『artscape』2018年9月15日号配信、DNP |  
[http://artscape.jp/report/review/10149059\\_1735.html?fbclid=IwAR2Mbg0hv3gUb132PKALJhs195VONxkKlHfPFtCRWDE\\_hntwwG4rtWgVEnl](http://artscape.jp/report/review/10149059_1735.html?fbclid=IwAR2Mbg0hv3gUb132PKALJhs195VONxkKlHfPFtCRWDE_hntwwG4rtWgVEnl) [2018年11月11日アクセス]  
 「目に見えるものが真実とは限らない？ 副田一穂が見た、原田裕規「心霊写真／マツド」展」『美術手帖（WEB）』2018年8月30日  
 配信、BTCompany |  
<https://bijutsutecho.com/magazine/review/18327?fbclid=IwAR3CGOD70Bc-Z8POVnxvzqliSPrn-EygUFUcb7XykavIJjTrmiMGVnmoRUI> [2018年11月11日アクセス]  
 「日本で発表されているアート400選」『ギャラリー』2018年8月号、ギャラリーステーション | p.129  
 インタビュー『二十一生』（聞き手：Lee Yong Jun）<https://21sss.net/Yuki-Harada-Jp> [2018年11月11日アクセス]  
 志田康宏「「額装の日本画」展のテーマと裏テーマ」『美術運動史』167号  
 インタビュー「原田裕規インタビュー（聞き手：佐藤拓真）」『「作者不詳 #2 揭示／啓示」』冊子、CAGE GALLERY  
 インタビュー「写真表現の拡張を試みる 原田裕規に中尾拓哉が訊く」『美術手帖（WEB）』2018年7月13日配信、BTCompany |  
[https://bijutsutecho.com/magazine/interview/14933?fbclid=IwAR1sy2w9PCNzs5rZ\\_0jhp6l4uXZc5aB9clZwkiSTVHDSWiSPIJCx8U1lwV4#.W0h9vlkwoZp.twitter](https://bijutsutecho.com/magazine/interview/14933?fbclid=IwAR1sy2w9PCNzs5rZ_0jhp6l4uXZc5aB9clZwkiSTVHDSWiSPIJCx8U1lwV4#.W0h9vlkwoZp.twitter) [2018年11月11日アクセス]  
 長谷川新「「写真について考える」の3展覧会」『クイック・ジャパン』137号、太田出版、2018年 | p.191  
 飯沢耕太郎「原田裕規「心霊写真／ニュージャージー」」『artscape』DNP、2018年4月15日 |  
[http://artscape.jp/report/review/10144995\\_1735.html?fbclid=IwAR0d9CohP98OMGN9zLs9Qp3powF0nhXsoZoUjLtxnoihiQxY4xYCYs3kg](http://artscape.jp/report/review/10144995_1735.html?fbclid=IwAR0d9CohP98OMGN9zLs9Qp3powF0nhXsoZoUjLtxnoihiQxY4xYCYs3kg) [2018年11月11日アクセス]  
 gnck「イメージの心霊。gnckが見た、原田裕規「心霊写真／ニュージャージー」展」『美術手帖（WEB）』2018年4月3日配信、  
 BTCompany |  
[https://bijutsutecho.com/magazine/review/13589?fbclid=IwAR0iCd9G7BWEvR17t0PAOz4EK2ekB7HdARdloZwx\\_Bm3s5a-7K09QYjT5Ak](https://bijutsutecho.com/magazine/review/13589?fbclid=IwAR0iCd9G7BWEvR17t0PAOz4EK2ekB7HdARdloZwx_Bm3s5a-7K09QYjT5Ak) [2018年11月11日アクセス]  
 「浮遊するイメージを作り出す試み」『ギャラリー』2018年3月号、ギャラリーステーション | p.39
- 2017 『ALLOTMENT ART MAGAZINE Vol.3』[作品紹介] アロットメント事務局、2018年1月  
 宮原朋之「大人の文化祭『NEWTOWN』。カルチャーが元小学校に集結した日」（「ニュー・フラット・フィールド」展レビュー）  
 『CINRA.NET』2017年12月28日配信、CINRA.NET | <https://www.cinra.net/report/201712-newtown> [2018年2月10日アクセス]
- 2016 中尾拓哉「まぼろしの在処」（「ニュー・フラット・フィールド」展レビュー）『美術手帖』2018年1月号、美術出版社 | pp.194-196  
 土屋誠一「親密さについて」（「パープルタウンにおいでよ」展レビュー）『美術手帖』2016年10月号、美術出版社 | pp.164-165  
 「特集 美大生の今 2016 美大から社会へ 修了制作を終えた院生たちによる座談会」（黒木美都子・佐竹真紀子・高島美幸・永井天陽・  
 原田裕規・前川ひな・宮川慶子）『ギャラリー』2016年3月号、ギャラリーステーション | pp.81-99  
 「ART NAVI」2015年10月号、美術出版社  
 gnck「原田裕規は真面目である。」(lighthouse vol.9 原田裕規展レビュー)『美術手帖』2015年3月号、美術出版社 | pp.250-251
- 助成  
 2018 「公益財団法人アイスタイル芸術スポーツ振興財団 現代芸術振興助成」  
 2016 「平成28年度 新進芸術家海外研修制度（短期研修・後期）」

受賞歴

- 2019 「ゲンビどこでも企画公募 2019」 木村絵理子賞
- 2013 「Book of the Year 2013 (dacapo 主催)」 第7位 (『ラッセンとは何だったのか? ——消費とアートを越えた「先」』)  
「平成 24 年度 武蔵野美術大学卒業・修了制作展」 優秀賞
- 2006 「Indiket 2006」 Art Space Hap 賞  
「第 10 回フラッグアート展」 岐阜新聞・放送賞